

**令和6年度 農山漁村振興交付金のうち
農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型)及び農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型)
事業実施主体 評価一覧**

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された「農山漁村振興交付金のうち農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型)及び農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型)」の事業について、農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農山村振興局長通知)別記5の第9の3の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した沖縄県内の3地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。

その結果、優良と認められる地区が1地区、総合的に低調と認められる地区が2地区との評価結果となった。

総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

3. 各地区的評価結果

3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
沖縄	沖縄県	名護市	株式会社エスペレ	／	／	● ★	●	■	／	／	／	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
沖縄	沖縄県	糸満市	医療法人陽和会	／	／	／	● ★	● ★	□ ▼	△	／	C	総合的に目標の達成状況が低調と認められる。
沖縄	沖縄県	今帰仁村	合同会社フロウ	／	／	／	／	● ☆ ▼	○ △	□ △	／	C	総合的に目標の達成状況が低調と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長: 杉村 泰彦(琉球大学農学部 教授)

委 員: 幸喜 徳子(沖縄石油ガス株式会社 代表取締役会長)、田中 政宏(株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役社長)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

1 日 時: 令和6年8月19日(月) 14:00~16:00

2 場 所: 沖縄総合事務局 会議室

3 議事概要

① 令和6年度評価対象地区の評価方法について

本年度の評価方法について、説明を行いました。

② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について

令和5年度に事業を実施した3地区の、取組概要、評価案に関して説明し、質疑応答を行った。

4 主な意見

・株式会社エスペレ: 事業実績については、台風被害により影響を受け、生産量が低下したため売上が目標に達しなかったが、就労、交流人口及び月平均工賃は十分に目標を達成している。今後も農福連携の取組の維持発展を期待する。

・医療法人陽和会: 事業実績については、整備事業における開発許可申請に時間を要し、施設完成が大幅に遅れたことにより、雇用、売上げ及び交流人口が目標に達していないことはやむを得ないが、令和6年度はこれまでの実績を活かし、栽培技術の習得や販売、農園での体験受け入れ等の取組を一層進め、目標達成に向けて努められたい。

・合同会社フロウ: 事業実績については、ワイン試験醸造において品質が確保できなかったことから、販売に至らず売上げが目標に達していない。令和6年度は、昨年度の取組において顕在化した課題を踏まえ、栽培技術及び醸造技術の習得等を確実に行い、事業目標の達成に努められたい。なお、技術的にも難易度の高い取組は評価されるが、事業承認者との密な連絡調整等、実施体制の充実を図り、確実に実行できるよう努められたい。

(注) 【※1】及び【※2】には、別表に記載の内容からそれぞれ該当するものを転記すること。